



川西中学校だより

kawani-j@fukui-city.ed.jp 【校訓】 自主・明朗・節度 令和6年3月5日 第11号

令和6年3月8日に第73回卒業証書授与式を行います。3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者のみなさまにおかれましては、3年間福井市川西中学校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度福井市川西中学校スクールプランの学校評価結果をお知らせします。

【重点目標】

【わかる授業づくり】

—具体的な取組—

- 生徒の見取りを軸に主体的・対話的で深い学びの授業実践
- 積極的な授業公開と学力向上対策の実践

—重点目標に対する数値目標—

- ☆授業がよくわかる生徒
85%以上 結果88.1%
- ・自分の考えを積極的に表現している生徒
70%以上 結果59.6%
- ・自ら学び、考え、自分の言葉で伝え合う授業に取り組む教職員
95%以上 結果100%

- ・「授業がよくわかる」と回答した生徒は、88.1%でした。数値目標は、達成することができました。しかし、教科によっては、まだまだ偏りがありますので、研究部でさらに分析し、改善に努めます。
- ・「自分の考えを積極的に表現している」と回答した生徒は、59.6%でした。数値目標は達成できませんでしたが、昨年度と比較しますと47.2%→59.6%と12.4%の伸びを示しています。毎日、授業を参観していますが、生徒は自分の考えをもち、となりの生徒やグループで意見交換することを特別なことではなく、ふつうに取り組んでいます。「積極的に表現～」という文言に対して、控えめな回答になっているのかもしれませんが。
- ・「自ら学び、考え、自分の言葉で伝え合う授業に取り組んでいる」と回答した教職員は、100%でした。今年度は「中学校学習指導要領」全面的実施からすでに3年目であり、知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成と知識の理解の質を更に高め、確かな学力の育成をめざしています。授業づくりこそ、教職員の職務であるので、100%は当然の結果といえます。

【重点目標】

【居場所づくり・絆づくり】

—具体的な取組—

- 互いに認め合える学級づくりと不登校の未然防止、関係機関連携
- 自分の生き方について考える教育活動の充実

—重点目標に対する数値目標—

- ★学校が楽しいと感じる生徒
90%以上 結果97.2%
- ★将来の夢や目標がある生徒
75%以上 結果73.4%
- ★郷土福井を大切にしたい生徒
90%以上 結果93.6%

- ・「学校が楽しいと感じる」と回答した生徒は、97.2%でした。数値目標を大きく超え、昨年度と比較すると88.7%→97.2%と驚異的に伸びています。今年度の1学期は90.4%だったので、それよりもさらに6.8%の伸びを示しています。これは具体的な取組として「互いに認め合える学級づくりと不登校の未然防止、関係機関連携」が、よく機能していた結果といえます。
- ・「将来の夢や目標がある」と回答した生徒は、73.4%でした。数値目標は達成できませんでしたが、昨年度と比較すると65.1%→73.4%と8.3%の伸びを示しています。
- ・「郷土福井を大切にしたい」と回答した生徒は、93.6%でした。数値目標を達成しており、学級活動や道徳、総合

的な学習の時間で学ぶ「自分の生き方について考える教育活動の充実」の成果といえます。

【重点目標】

【心づくり・体づくり】

—具体的な取組—

- いじめや差別を許さない人権教育の充実
- 学年集会の充実
- 健康教育、運動習慣づけの推進

- 重点目標に対する数値目標—
- ☆何でも相談できる友だちや教職員がいる生徒
90%以上 結果83.5%
 - ☆友だちはよいところをわかってくれる生徒
90%以上 結果94.5%
 - ・一人一人を大切に温かく指導していると考える保護者
85%以上 結果86.9%

- ・★3つは、福井市が設定する必須の成果指標です。他の☆3つは、本校が設定する成果指標です。「何でも相談できる友だちや教職員がいる」と回答した生徒は、83.5%でした。数値目標は達成できませんでしたが、学年が上がるに従って、数値は伸びています。同様に「友だちはよいところをわかってくれる」と回答した生徒は94.5%と高い数値でした。いじめや差別を許さない人権教育の充実に力を入れている本校としては、うれしい結果です。
- ・「一人一人を大切に温かく指導していると考える」と回答した保護者は、86.9%でした。いじめを見逃さない対応と落ち着いた学習環境づくりの評価も86%をいただいております、教職員一同の励みとなります。

【重点目標】

【家庭・地域や中学校区との連携】

—具体的な取組—

- 安全指導、避難訓練を通じた危険回避と対応能力の育成
- 地域の教育資源や学習環境の活用
- 生徒の学びをHPや各種たよりで情報公開

- 重点目標に対する数値目標—
- ・学校は安全面を適切に指導していると考える保護者
90%以上 結果80.2%
 - ・学校は教育内容を適切に伝えていると考える保護者
90%以上 結果84.6%
 - ・学校生活について家の人と話をする生徒
85%以上 結果89.9%

- ・「学校が安全面を適切に指導している」と回答した保護者は、80.2%でした。7月の大雨の体験を経て、各学年通信11月号では、「川西地区危険か所マップについて」と題して、「町内自治会のときに生徒の皆さんから出てきた、危険な場所を地図にまとめました。危険か所を確認し、気をつけて登下校してください。QRコード付き」という内容で、お知らせしました。学校としては、生徒の実際の声を聞き取り、危険箇所を新たに地図に追加して作成しました。ぜひ、保護者の方もお子様と一緒にご確認ください。

令和6年度は、スクールプランをさらに改訂し、教育活動に取り組んでいきます。

第2回家庭・地域・学校協議会 2月20日(火)3限:授業参観 4限:協議会

家庭・地域・学校協議会委員のみなさまに、全クラスの授業の様子を参観していただきました。2学期の授業の様子の内容や変化など、じっくりと参観していただきました。その後、協議会では「学校評価」について、話し合いを行いました。



- ・授業中の生徒の顔を観察していました。集中した顔、楽しそうな顔ばかりで、安心しました。
- ・教職員同士で、授業力を高め合う姿が立派です。
- ・数値目標も向上して、すばらしいです。

*ぜひ、学校HPより、カラー版でお読みください。

*「活動報告」は、随時、学校HPで限定配信しています。
最新号「2.20第2回家庭・地域・学校協議会」